

# アジア経済研究所の研究のあらまし

アジア経済研究所は2017年度、今回の特集で紹介している10の重点研究のほか、約70の研究プロジェクト（「研究会」）をおこないます。下の表にはその主要なものを示しました。これ以外にも、文部科学省科学研究費をはじめとする、競争的な外部資金を用いた研究プロジェクトにも取り組んでいます。

アジア経済研究所の研究の第1の特色は、開発途上国や新興国の現実に深く根ざしていることです。アジア経済研究所には約120名の研究員がいますが、そのおよそ8割が特定の国や地域の専門家です。その国や地域の歴史を学び、日々、インターネットや新聞で情報を集め、毎年のように継続的にその国や地域を訪ね、農村や街や工場を観察し、人々と語らうことで、その国や地域で何が起きているのか、その背景には何があるのかを理解することに努めています。研究の課題はそのなかから生まれています。

表中のプロジェクトでは、たとえば「複雑化する東アジアの持続可能性課題への対応」の背景には、東アジア諸国の持続可能性を保つためには新しい仕組みが必要であるという考えがあります。「中東における家族の変容」は、激動する現在の中東社会に、家族という社会の基礎的な単位から迫ります。

開発途上国における障害者は、アジア経済研究所が早くからその重要性に着目し、成果を積み上げてきた課題です。今年度は「アジアにおける障害者のアクセシビリティ法制」という新しい課題に取り組みます。

第2の特色は、社会科学の手法に基づいていることです。社会科学は国別や地域別の研究の重要なツールであるとともに、国や地域を跨いだ横断的な研究や、国や地域間の相互作用の研究においてその特長を顕著に発揮しています。

たとえば「グローバル・バリューチェーン」は世界経済やここでの発展途上国・新興国の位置づけを理解するのにたいへん役に立ちます。そうした観点から、「グローバル・バリューチェーンと労働」や「技術革新とグローバル・バリューチェーン」といったプロジェクトが企画されています。「経済地理シミュレーション・モデルに基づく研究」で使われているモデルは、諸国間の経済関係や政策の効果を分析するのにとても有用です。

こうした研究の成果は遠からずウェブサイト、ジャーナル、書籍、講演・会議をとおしてみなさんにお届けします。楽しみにお待ちください。

（アジ研ワールド・トレンド編集部）

## 2017年度アジア経済研究所の主な研究プロジェクト

（カッコ内は主査あるいは幹事です。＊はこの特集で紹介したプロジェクトです）

### ■ 開発途上国全般

- ・女性のエンパワメントと社会制度（工藤友哉）＊
- ・職業訓練教育と就労（福西隆弘）＊
- ・グローバル・バリュー・チェーンと労働（佐藤仁志）＊
- ・途上国における農業経営の変革（清水達也）
- ・技術革新とグローバル・バリューチェーン（猪俣哲史）
- ・中古品の国際貿易（小島道一）
- ・新興国における企業活動と人権リスクに関する調査・啓発ならびにナショナル・アクション・プラン策定に関するプラットフォーム構築事業（山田美和）
- ・多層的な資格の相互承認制度の解明（浜中慎太郎）
- ・資源・環境政策に関わる行政組織の形成過程（寺尾忠能）
- ・規制とスタンダード：波及と分断化、協調への動き（道田悦代）＊
- ・アジアにおける食品安全規制遵守の取組み：サプライチェーン管理からみた規制違反データ分析（道田悦代）
- ・日本型コンビニエンスストアの途上国展開と貧困削減（佐藤寛）
- ・気象データを活用したマラリア早期警戒システムの効果測定（伊藤成朗）
- ・経済地理シミュレーション・モデルに基づく研究（熊谷聡） ほか

### ■ アジア全般

- ・アジア諸国の動向分析（荒井悦代）
- ・緊密化する経済圏：ASEANと南アジアⅡ（今泉慎也）
- ・看護師の国際労働移動：フィリピンとインドの比較（辻田祐子）
- ・アジアにおける障害者のアクセシビリティ法制（小林昌之）
- ・アジアの起業とイノベーション（木村公一朗）＊
- ・技術移転と産業発展の長期的展開過程：インドとタイにおけるオートバイ産業と自動車産業の比較事例研究（大塚啓二郎）＊
- ・中国の農産品需要がインドシナ諸国の農業部門に与える影響（久保公二）
- ・21世紀アジア諸国の人文社会科学における研究評価制度とその影響（佐藤幸人）
- ・アジア国際産業連関表の評価と応用可能性（桑森啓） ほか

### ■ 東アジア

- ・複雑化する東アジアの持続可能性課題への対応（大塚健司）
- ・中国の産業組織：理論構築と新局面の分析（藤田麻衣）
- ・習近平政権二期目の課題と展望（大西康雄）
- ・馬英九政権期の中台関係と台湾の政治経済変動（川上桃子） ほか

### ■ 東南アジア

- ・東南アジア政治の比較研究（川村晃一）＊
- ・東南アジアにおける商業銀行部門の変容と現状（濱田美紀）
- ・フィリピン経済・産業の再生と課題（柏原千英）
- ・インドネシアの都市化の影響：企業の生産性と労働移動の分析（東方孝之）
- ・メコン地域の輸送インフラと物流事情（石田正美）＊ ほか

### ■ 南アジア

- ・政治的抵抗の影響：バングラデシュのケース（アブ・シオンチョイ）
- ・バングラデシュにおける政治と司法の独立（湊 一樹）
- ・インド北東地域をめぐる日印関係：コネクティビティの過去・現在・未来（村山真弓）＊ ほか

### ■ 中東・中央アジア

- ・中東の政治経済分析（鈴木均）
- ・中東における家族の変容（村上薫）
- ・湾岸アラブ諸国の立法と執政をめぐるアカウンタビリティ（石黒大岳）
- ・イラン「経済自由化」政策の変容とインパクト：産業、市場、経営環境（岩崎葉子）
- ・トルコにおけるグローバル化と政権支持（間寧） ほか

### ■ アフリカ

- ・現代アフリカの政治経済（福西隆弘）
- ・アフリカにおける女性の国際労働移動（児玉由佳）＊
- ・感染症対策の経済分析：セネガルにおける売春非犯罪化の事例（伊藤成朗） ほか

### ■ ラテンアメリカ

- ・ラテンアメリカ政治経済社会（坂口安紀）
- ・21世紀のメキシコ：近代化する経済、分極化する社会（星野妙子） ほか